



水稻本田用殺菌剤

いもち病と穂枯れ、紋枯病

イツカツ

一成分で一括防除

オリブライト®  
1キロ粒剤



- いもち病、紋枯病、穂枯れなど多くの病害に高い防除効果を示します。
- 散布適期幅が広く、使いやすい薬剤です。
- 速やかに根から吸収され、長い残効性があります。
- 水生生物などに影響が少ない薬剤です。

いもち病と穂枯れ、紋枯病

イッカツ

# 一成分で一括防除

水稻本田用殺菌剤

# オリブライト® 1キロ粒剤

- 農林水産省登録 第20026号
- 有効成分：メトミノストロピン……15.0%
- 毒性：普通物

## ■適用作物・病害および使用方法

\*本剤およびメトミノストロピンを含む農業の使用回数

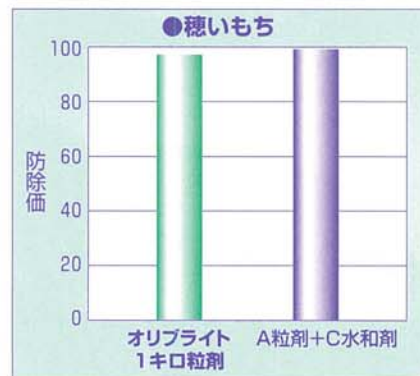
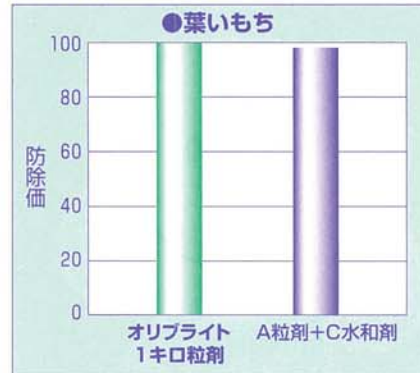
作物名	適用病害名	10アール 当たり 使用量	使用時期	総使用 回数*	使用方法
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌) (すじ葉枯病菌)	1kg	収穫45日 前まで	1回	散布または 無人ヘリ コプター による散布
	白葉枯病 葉鞘腐敗病 黒しゅ病				散布

2008年7月現在の登録

## ⚠ 注意事項

- 本剤をいもち病に使用する場合、葉いもちの初発10日前～10日後の散布で、葉いもちに有効であり、また、穂いもちに対する効果も期待できますが、穂いもちの多発が予想される場合には、穂いもち対象剤を併用することが望ましいです。
- 散布に当たっては、湛水状態(水深3～5cm)で重複散布を避け均一に散布し、散布後少なくとも4～5日間は湛水状態を保ち、田面を露出させず、散布後7日間は落水およびかけ流しはしないで下さい。
- 本剤の使用により、稲の葉に褐点が生じる場合があるので、所定の使用量を厳守するとともに、次の事項を十分注意して下さい。
- 葉いもちの初発の遅い地域または早生種に対しては、本剤の使用時期のなるべく早い時期(出穂30日前頃まで)に使用して下さい。
- 急激な温度上昇が起こる気象条件下では、葉に褐点が生じやすいので、フェーン現象などが予想される場合は使用しないで下さい。
- 本剤を散布した水田の田面水を他作物の灌水に使用しないで下さい。
- 中干し後に使用する場合は、入水し1日以上湛水状態を保った後に散布して下さい。
- 本剤を無人ヘリコプターで散布する場合は、次の注意を守って下さい。
- 散布は使用機種の使用基準に従って実施して下さい。
- 無人ヘリコプター用粒剤散布装置によって散布して下さい。
- 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整して下さい。
- 散布薬剤の飛散によって他の動植物などへ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分注意して下さい。
- 水源池、飲料水などに、飛散・流入しないように十分注意して下さい。
- 機体の散布装置は十分に洗浄し薬剤タンクの洗浄水は河川などに流さず、環境に影響を与えないように適切に処理して下さい。
- 養魚池、養魚田に飛散・流入しないように十分注意して下さい。
- 水産動物に影響を及ぼす恐れがありますので、養魚池など周辺での使用は避けて下さい。

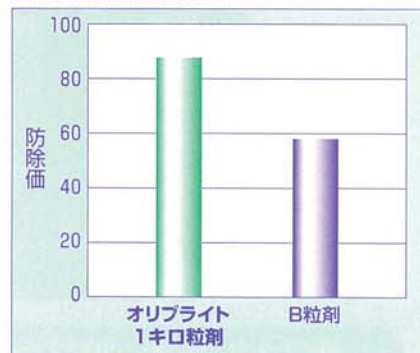
## ■いもち病防除効果



石川県農業総合研究センター(1997年)

- 品種：コシヒカリ ●移植：5月14日 ●葉いもち：少発生 ●穂いもち：中発生 ●散布：7月18日(初発10日後)
- 対照薬剤：A粒剤6月25日3kg/10a+C水和剤7月29日4000倍 150g/10a ●調査：葉/7月29日 穂/8月26日

## ■紋枯病防除効果



兵庫県中央農業技術センター(1999年)

- 品種：どんとこい ●移植：6月10日 ●発生：中発生 ●散布：7月16日 ●対照薬剤：B粒剤7月29日 3kg/10a ●調査：9月27日

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。

バイエルクロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 www.bayercropscience.co.jp

お客様相談室：☎ 0120-575-078 (9:00～12:00, 13:00～17:00 土・日・祝祭日をのぞく)

F-2076/08.07.ZN